

スポーツを通して

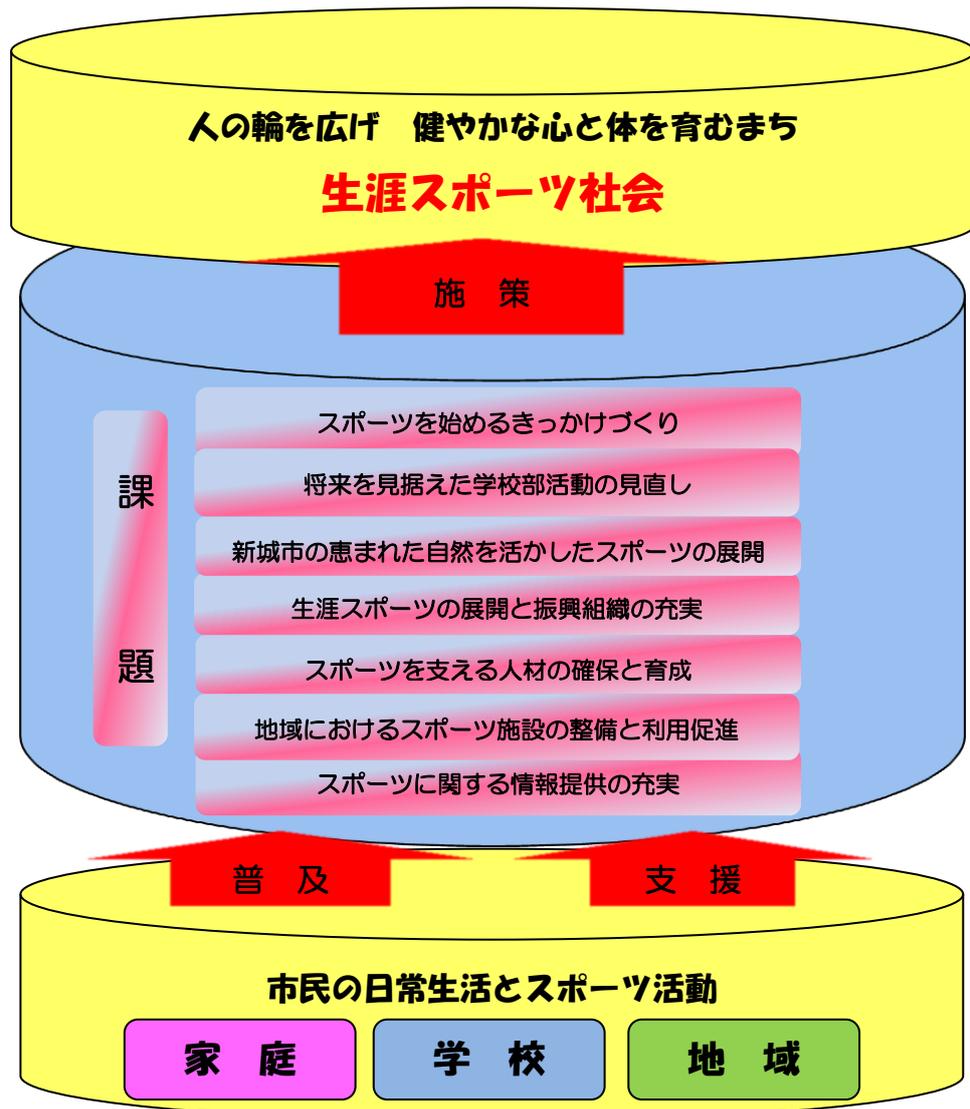
健康な「まち」づくりを目指します！

基本方針

スポーツに親しむことは、体を動かす機会の増加につながり、市民の体力向上や健康の保持増進につながります。また、スポーツに親しむことによって、ストレスが解消され、ゆとりや生きがいのある生活が期待できます。そして、様々な人との交流により親睦が生まれ、仲間づくりや地域コミュニティの活力にもつながります。このように、スポーツの盛んなまちとしての気運の高まりは、スポーツ人口の増加につながっていくと考えます。

本市では家庭や学校、地域が「いつでも」、「どこでも」、「誰とでも」日常生活においてスポーツ活動を楽しむことができる環境を整えることにより、市民が生きがいをもって健康に暮らすことのできる生涯スポーツ社会へとつながることが期待されます。

イメージ図



基本目標

スポーツ機会の充実

- スポーツを始めるきっかけづくりプログラムの提供
- 幼児期からの体を動かす習慣の定着
- 学校部活動の再構築
- 新都市の自然を活かしたスポーツの振興
- 高齢者の健康づくりの振興
- 障がい者のスポーツの振興
- 競技スポーツの振興
- 地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブのあり方の検討

本市では全市民のスポーツ機会の充実を図るために、あらゆる世代にアプローチしていくことを目指します。とりわけ学校部活動の再構築は、将来のスポーツ環境の充実を考えるうえで重要な役割を果たすものとなります。

スポーツを支える人材の確保と育成

- スポーツを支える人材の確保と育成の推進
- スポーツリーダーバンクの整備

市民のスポーツ活動を支えるスポーツサポーター(*)を育成するとともに、スポーツリーダーバンクシステムの整備に力を注いでいきます。

*スポーツサポーター

各種競技指導者やクラブ運営責任者、スポーツボランティアはもとより、人々のスポーツ活動を見守ったり、施設・設備を整備したりする人材

スポーツ施設の整備

- 学校体育施設と既存のスポーツ施設の改修と整備
- 総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究

学校体育施設や既存のスポーツ施設の改修と整備を中心として、市民の皆様のニーズにこたえられるようスポーツ環境を整えていきます。

情報システムの充実

- スポーツ情報の発信方法の工夫
- スポーツ情報の内容の充実

市民がスポーツに関心をもてるような情報を提供し、スポーツ活動の啓発に取り組みます。また、スポーツ施設の利用状況などの情報内容を充実していきます。

重点目標

スポーツ機会の充実

- ★成人の週1回以上のスポーツ実施率を 27.4%(3.5人に1人)から 33%(3人に1人)となることを目指し、誰でも気軽にスポーツに親しむことができるよう推進します。
- ★幼児期からの体を動かす習慣を定着させ、生涯にわたって運動を続けるための基盤づくりに努めます。
- ★地域と連携して学校部活動の再構築を図り、子供が幅広くスポーツに携われるようにします。

スポーツを支える人材の確保と育成

- ★スポーツサポーターの確保と育成を進めます。
- ★スポーツサポーターの活動機会の充実を図ります。

スポーツ施設の整備

- ★既存の体育施設の整備をするとともに利用促進を図ります。
- ★総合スポーツの拠点となる体育館に関する調査研究を進めます。

情報システムの充実

- ★スポーツ情報の発信方法を工夫します。
- ★スポーツ情報の内容の充実を図ります。

生涯スポーツ社会の構築

～人の輪を広げ 健やかな心と体を育むまち～